

2019年2月11_12日

017D組クラス有志旅行 只見と会津

<2019年2月11日月曜祝日 12日火曜>

只見・会津 (豪雪地帯の雪見旅行)

参加者：男子6名：小林、播磨、武馬、井上、松永、蠟山 女子2名：樋口、横山

<スケジュール>：

2019年2月11日 各自自宅最寄駅⇒東京(JR 快速アーバン,高崎行き)8:29⇒上野8:35⇒10:15 高崎集合⇒高崎(JR 上越線,水上行き,6番線発)10:25⇒11:29 水上(JR 上越線,長岡行き)11:40⇒12:56 小出(JR 只見線,只見行き)13:11⇒14:28 只見⇒只見(JR 只見線代行バス,会津川口行き)14:35⇒15:25 会津川口(JR 只見線,会津若松行き)15:31⇒15:52 早戸 早戸駅(国道252号線を徒歩10分)⇒早戸温泉つるの湯

2019年2月12日 温泉出発：8:30 早戸(JR 只見線,1時間39分,970円)8:56⇒10:35 会津若松 ※バス10分で会津若松城へ鶴ヶ城参観, タクシーで会津若松駅へ 昼食 会津若松(JR 快速リレー140号,会津田島行き)13:49⇒14:52 会津田島(会津鉄道,特急リバティ会津140号,浅草行き)14:57⇒18:15 浅草 ※計4時間26分

【早戸温泉つるの湯】

・〒969-7406 福島県大沼郡三島町早戸湯ノ平888 ☎0241-52-3324 ※年中無休

・只見川沿いにあり,1200年の歴史がある,地元の湯治場温泉 : 日帰り温泉+宿泊部屋(湯治棟に8部屋,自炊設備あり)+食堂(軽食)

・15年前に地元有志組合員が共同で復元して設立 平成30年4月にリニューアルオープン済み ※蠟山は50年前の昭和44年夏に利用した事があります。

・宿泊料金(素泊まり)：5,360円/1名(含む浴衣レンタル代300円)

・16:30~18:00 入浴 ※只見川側は大浴場と小さな露天風呂があり,雪見入浴ができる(9:00~20:30) ※内湯：5:00~22:00

・18:00~ 酒盛り夕食会 ※場所：『只見川』の12畳間 ※高崎駅前で買い出ししたものを飲食する(：部屋に備え付けの湯治客用自炊設備・食器を利用)

買い出し：樋口,蠟山,横山：『イオンスタイル高崎駅前店』で2/11の全員分の,①電車内のアルコール・つまみ,及び②夕食用食材,を買い出しする(9:00~10:00)

さあ、写真を見て楽しんでください。

2月11日月曜祝日

各自高崎駅での集合に合わせて家を出発。高崎駅で無事全員集合。ただ井上、松永は走り込みセーフ。高崎買い出し先発隊(松木+横山・蠟山)ご苦労さんでした。車内でまずビールで乾杯。



横山さんは、豪雪地帯を歩いた事がないので山歩き用の靴か長靴かで悩み、蟬山に相談。国道(早戸無人駅⇄つるの湯温泉)：片道10分間と会津若松城公園内の徒歩のため山歩き用の靴でOKと回答。

雪が水上駅くらいから目立ち始める。水上駅で事件。松木が夕食の買い出しバッグを棚に忘れたことが判明し、急いで列車に戻るが棚にはない。駅員が持って行ったのではということで改札に行くことになった。良かった。これで夕食は安心。

利根川の流れを見ながら進み、トンネルに入る。トンネルの中の土合駅のホームを久しぶりに見る。



越後中里、岩原スキー場前、越後湯沢、ガーラ湯沢、石打と懐かしいスキー場の前を通過。雪がきれいだ。魚野川が右手に見える。小出駅で乗り換え。小出駅で只見線に乗り換えローカルもローカルで一日に4本しかない。2両連結の車両。赤い車体がきれいだ。



小出から只見までの行き先表示の金属板が懐かしい。貸し切り状態だ。時々そばを流れている川は、インターネットで調べると破間川という川のようなようだ。

雪国のようで最近できた家は1回分が雪に埋まっても困らないような作りになっている。比較するとよくわかる。



雪の中の線路をまっすぐ、曲がりながら進んでいく。只見駅に近づくころから只見川が見えてきている。只見駅を降り案内板を見ると田子倉ダム、浅草岳や尾瀬沼が近いように記載している。只見駅で代行バスに乗り換える。満席だ。蟬山は補助席に座る。屋根の雪は1mくらいか。6駅ほどをバスは時間を守りながら各駅に停まる。途中1名が乗ってきただけ。会津川口駅での乗り換え。今度は緑色の車両だ。



ボックス席でなく、横並びの席にゆったりと座る。ボックス席を変更しているようだ。



只見川の流れはゆったりとして緑色に見える。沼沢沼をぐるっと回りこむようにして、只見川に沿って早戸駅に着く。早戸駅は只見川のそば。雪はそれほど多くない。なぜか無人ではなく車で来た外国人が数人写真を撮っている。早戸駅からは1日の6列車ある。少し多い。



国道 252 号は雪もなく少しがっかり。長いトンネルを通り抜けていくが、トンネルの先も雪国ではなかった。トンネルを抜け、右手に 200m ほどの雪もない道を進み、鶴の湯に着く。



受付は1階で、入り口は3階だという。チェックインを済ませ、離れの建物の各自の部屋に行く。部屋で少しゆっくりとしてから、温泉に向かう。温泉は受け付けの1階。露天風呂に入る。そこからは只見川と雪山が見えるが、もう少し雪があるといいなとせいたくを言う。蝸山が露天風呂の写真の撮ってくれたが、湯気で写りが悪かったようだ。

18:00 から一番大きい部屋で大宴会が始まる。イオンで購入した食べ物をおつまみにして、ビール、発泡性果実酒、シャンパン、日本酒、ワイルドターキー、焼酎など

を飲み干していく。2時間ほどで終了、



2月12日火曜

朝起きると雪国の景色になっていた。夜に降ったので、5 cm位積り、一面新雪。足跡も車の跡もない。写真を撮り忘れる。しかし、従業員が来て車の跡がついた。入り口の雪かきを始めている。



朝食(7:00～)は各自が前日に調達しておいたものを宿泊部屋で食べる。自炊設備があり、利用可能(湯沸し,電子レンジ,オーブントースター、食器類,その他)。各自が朝食を食べ終わり、帰りに着く。武馬が靴を履くのに手間取っている。足が膨らんでしまったという。雪の降る中、つるの湯湯治棟前で記念集合写真を撮る。



雨が降る中、早戸駅に向かう。朝は5:43と7:20に会津若松行きがすでに早戸駅を通過している。昨日着いた時とは駅の景色はガラッと変わっている。雪の中に線路が黒い色で2本ずーと伸びている。



しばらく待っていると列車が見えてきた。今日は緑の列車だ。



誰も乗っていない列車に 8 人が向かい合っ
て座る。



何という名前か分からないがダムが見える。
会津若松に近づくと大きな平野になり、雪
もそれほど積もっていない。ここまで昨日
の高崎から会津若松の切符が使えた。

会津若松駅からあかべえという周遊バスで、
少し時間がかかるが鶴ヶ城前まで行く。



鶴ヶ城のお堀は凍っている。櫓形の石垣を
見ながら進むと、鶴ヶ城の見えるところ
に出る。ここで記念写真を撮る。鶴ヶ城歴代
城主家紋の写真も撮る。伊達政宗の家紋は、
竹に雀紋。上杉謙信の家紋は、竹に二羽飛
び雀（上杉笹）紋。両方雀だった。上杉の
竹、笹は分かりにくい。



V 字に造られた武者走りの写真を撮る。階
段の積み方が違っている。鶴ヶ城見学開始。



3 階は写真 OK。山川浩、大山捨松、新島八重の写真の写真を撮る。天守閣から外に出れるが寒い。飯森山の方向を探す。色がきれいな会津絵ろうそくの写真を撮る。



タクシーを呼んで会津若松駅に向かう。その一會庵で十割手打ち蕎麦を食べることにする。囲炉裏の形のテーブルに 8 名一緒に座る。そばとどんぶりセットとかカモ付け蕎麦などがある。小林は重ねを 3 段の一つ追加を頼む。会津の地酒のお試しセット 1000 円を数人頼む。お蕎麦は少し白い色で、しこしこの硬さもあっておいしかった。そばでお土産を購入する人数人。帰りの列車ない様のビールと炭酸も購入。



会津鉄道は一両だけ。会津田島まで行く。



平野からのぼりはじめる。上ると雪が深くなって来る。芦の牧温泉駅、藁ぶきの駅舎の湯野上温泉駅を過ぎ、進んでいく。途中で単線のためのすれ違い箇所がある。

会津田島駅で特急リバテイ会津 140 号に乗り換える。特急料金を取っているのに車内に売店はない。飲み、会話をして過ごしていくと、夕日がきれいに見える時間になってきた。



浅草まで行かず、北千住で乗り換え、飲みに行こうという話がまとまる。

北千住の飲み屋街でしばらく歓談する。お疲れさまでした。

<感想、総括>

1日目は晴れて雪景色が遠くまで見え、それと対照的に2日目は雪の降る中の旅でした。どちらもそれぞれの風情があり、楽しめました。つるの湯はリフォーム直後で思っていたよりも快適でした。只見川の雪景色を眺めながらの露天風呂も愉しめました。これもひとえに参加各位の日頃の心がけの賜物なのでしょう。またいずれ何処かの旅にご一緒しましょう。

楽しい楽しい酒三昧の旅に誘っていただきありがとうございます。会津は思ったより寒くなく、温泉はすばらしく全てに快適な旅でした。いつかまた行ってみたい場所に登録しておきます。

久しぶりの温泉と雪見旅行、さらに沢山のアルコールと数年ぶりに楽しませていただきました。特に、蠟山さんには、種々の手配や、アレンジでお世話になり大変、ありがとうございます。

本日は、家の片づけや各種手配（暖房用の灯油購入）など雑用に追われていましたが、夕方から、早戸温泉の露天風呂で抱いた疑問も含めて、国土地理院の地図で調べてみました。集めた旅行パンフレットを眺めただけでは、把握できない？大まかな概念が多少わかった気がします。春になったら（只見地方の山開きは6月？）ゆっくりと車で訪問し、トレッキングなどして楽しもうかな？と思っています。なお、また、蠟

山さん企画の旅、ハイキングなど、積極的にできるだけ、参加しますので、よろしく！

この度は雪見旅行にお供させて頂き誠に有り難うございました。雪見にいい湯の温泉と大変に楽しい2日間を過ごす事が出来ました。厚く御礼申し上げます。

今朝、蠟山様より連絡を頂きました。靴を他の方のものと間違えました。ほとんど（全く？）同じ靴でした。少し窮屈で足がむくんだのかなと小生が言っていたのをご記憶の方もいらっしゃるかと思います。間違えたのは、25.5 cmのサイズで、小生の靴は26.5 cmでした。宿の方と連絡をとり、急ぎ宅急便にて宿へ返送した次第です。蠟山様にはご迷惑をお掛け致しました。申し訳ございませんでした。

今後ともに宜しくお願い申し上げます。取り急ぎ御礼とお詫びまで。